

公表

児童発達支援事業所における自己評価総括表

○事業所名	癒しの森kids みくりや			
○保護者評価実施期間	2025年 2 月 日 ～ 2025年 2 月 日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	9名	(回答者数)	12名
○従業者評価実施期間	2025年 2 月 日 ～ 2025年 2 月 日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7名	(回答者数)	7名
○事業者向け自己評価表作成日	2025 年 3 月 日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にやっている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	個々の特性に合わせたトレーニングを行い 集団活動に参加できるためのスキルやモチ ベーションを持てるような支援を行っている。 (適切な支援の提供)	それぞれの児童に合わせた個別プログラムの支援を通じ て、5領域のスキルアップが出来るような取り組みを 行っている。 (相手の話を理解するために言葉の理解や基本的な身体 の使い方の習得など)	児童の特性を理解して関わる為に、スキルアップのた めの勉強会や現状の児童の状況をしっかり把握するた めのミーティング等を開催している。 (毎朝前日の療育の振り返りを行い、次の対応策や方 針を職員間で共有している)
2	活動のスペースが広く、子どもたちの活動 に合わせた空間となっており、エレベータ ーやバリアフリー化の配慮もできている。 (環境・体制整備)	活動に合わせて、自由に空間をゾーニングしており、子 どもたちでも分かり易い環境作りを行っている。 毎日、消毒や清掃を行い、清潔に気持ちよく過ごせるよ うな配慮をしている。	子どもたちが活動に合わせて、空間を使う事だけでな く、活動空間はみんなで使っている事にも配慮できる ような支援を行う。 運動している児童と静かに活動している児童がお互い に配慮できるような意識づけに取り組んでいる。
3	送迎を行っていることにより、日頃の子ど もたちの活動の状況や発達の状況について 保護者様にお伝えすることができる。 (保護者様への説明等)	利用された日のお子様の状況や園からの送迎の様子 など、送迎時にお伝えしたり、お電話にてお伝えし ている。 トラブルなどあった際には、ご自宅に訪問してしっ かりお伝えすることもある。	保護者様が困られている事や、児童が困っている 事等職員がしっかり対応できるようにスキルアップ の研修や勉強会の開催をしている。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	父母の会の活動の支援や、保護者同士の交 流の機会が設けられるなど、家族への支援 やきょうだいへの支援は出来ていない。 (保護者への説明等)	子どもたちの支援の時間を長くとっている為に、父 母の会の活動や家族や兄弟への支援をする時間が取 れていない。	親子療育等を行っているが、保護者間の関わりを 希望されている状況なのかも把握していきたい。 きょうだいとの関わりについても支援が出来るよ うにしたい。
2	職員の配置数について、基準は満たしてい るが利用児童の状況に応じた必要な人員配 置が出来ていない時がある。 (環境・体制整備)	1対1での関わりが必要な場合もある為、手厚い人 員配置にする必要がある日がある。 利用児童の状況により、基準の配置では十分に対応 できない。	集団のプログラムをすすめながら、排泄介助や痙 攣時の対応をするための手厚い人員配置を行うよ うにする。
3	家族に対して家族支援プログラム(ペアレン ト・トレーニング)や家族等も参加できる研 修会は出来ていない。 (保護者への説明等)	子どもたちの支援の時間だけでなく、同時に家族に 対しても支援していく時間を作る必要がある。 家族みんなで良い方向にむかうための体制が出来て いない。	療育の時間だけでなく、家庭や園での関わりにつ いてもどのような関わり方をしたらよいのか保護 者様への支援をしていく必要があるので、今後開 催できるよう検討していきたい。